

第1四半期の概況をお知らせします。

お客さまのIT投資の抑制や先送りの影響を受け、前年同期と比べ減収となりました。

【情報ソリューション】

景気低迷に伴う案件数の減少および案件規模の縮小が大きく影響した結果、売上高は前年同期比12.5%減となりました。特に、サーバー、PCおよびソフトウェアなどのシステム製品の販売は、前年同期と比べ21.1%減少し、厳しい結果となりました。

【システム・ディストリビューション】

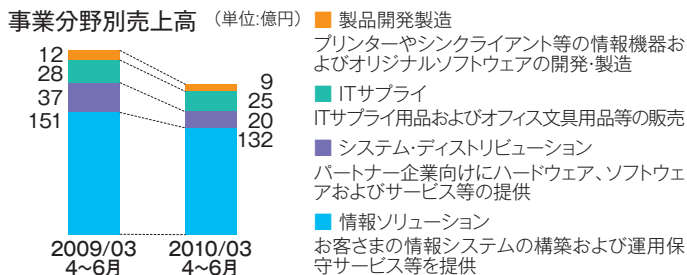
エンドユーザー（最終的なシステム利用者）のIT投資の意欲が低調に推移した結果、売上高は前年同期比43.7%減となりました。

【ITサプライ】

お客さまの経費削減意識の高まりから、オフィス文具用品を中心に販売が減少し、売上高は前年同期比10.6%減となりました。

【製品開発製造】

プリンターヘッド等の製造受託ビジネスが低調に推移したことなどから、売上高は前年同期比21.9%減となりました。



POSTCARD

ごあいさつ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、第46期第1四半期が終了いたしましたので、第1四半期株主通信をお送りいたします。今回は、第1四半期の業績と今後の取り組みを中心にご報告いたします。

第1四半期は、収益の悪化や景気の下振れ懸念から、多くの企業においてIT投資は抑制傾向にあり、この影響を受けて前年同期比で減収となりました。損益面では、販売費および一般管理費などのコスト削減に努めましたが、売上の落ち込みを補いきれませんでした。

その結果、第1四半期は、

- 【売上高】 188億95百万円**
(前年同期比17.8%減)
- 【経常損失】 20百万円**
(前年同期は4億64百万円の経常利益)
- 【四半期純損失】 1億18百万円**
(前年同期は1億22百万円の四半期純利益)

となりました。

業績予想修正について (2009年7月31日公表)

	第2四半期累計期間	通期
連結売上高	400億円	850億円
連結経常利益	1億円	13億50百万円
連結当期純利益	△70百万円	5億50百万円

ITの可能性を、経営の可能性に。



第2四半期以降も、厳しいビジネス環境が継続すると予想され、第1四半期の業績進捗状況も踏まえて、誠に遺憾ながら2010年3月期の業績予想について、2009年7月31日に下記のとおり修正を発表いたしました。

依然として厳しい環境下ではありますが、売上の増大やコスト削減につながるシステム構築などへのIT投資には根強い需要が見受けられます。このようなお客さまのご要望を的確に把握し、投資効果の高いソリューションをご提案することにより受注の拡大を図ってまいります。

事業環境は予断を許さない状況ではありますが、JBグループ一丸となってあらゆる施策を講じて、収益確保に努めてまいりますので、引き続きご支援をお願いいたします。



2009年8月
JBCCホールディングス株式会社
代表取締役社長 石黒 和義

※修正の理由は一過性のものであり、第2四半期以降の利益確保が見込まれるため配当予想は、2009年5月15日に発表しました1株あたり30円(通期)から変更いたしません。

※自己株式の取得・消却について、有効な利益還元のひとつと考え、2009年7月31日の取締役会にて、2009年8月3日~2009年10月23日に30万株(上限)を市場買付により取得することを決議いたしました。



株主通信 第46期 第1四半期報告書

JBCCホールディングス株式会社 (証券コード: 9889)



差出人 東京都大田区蒲田五丁目37-1
ニッセイアロマスクエア15F
JBCCホールディングス株式会社
経営企画、広報IR

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

※本通信は2009年3月末時点での株主さまにお送りしています。

01-OPEN 「トップメッセージ」はこちらから。

[ご注意] 濡れている場合はよく乾かしてからめくってください。

Q & A 質疑応答

Q 第2四半期以降の各事業分野の取り組みについて教えてください。

A 各事業分野において以下の施策に取り組み、ビジネスの拡大を図ります。

[情報ソリューション分野]

- コスト削減などのソリューション提案による受注の拡大
- システム構築など、グループ内リソースを活用した内製化の推進

[システム・ディストリビューション分野]

- 新規チャネルの獲得および既存チャネルの拡大
- ハードウェアの販売に加え、ソフトウェアの販売を本格的に開始

[ITサプライ分野]

- Webによる集中購買および購買代行ビジネスの推進
- 新規商材の拡販

[製品開発製造分野]

- JBソフトウェアやプリンターの機能強化・ラインアップの拡充
- グループ会社およびOEM先企業との協業の推進

A グループ力をより一層強化し、ビジネスの拡大を図ります。

クラウド・コンピューティング^(※)の導入・構築支援サービスや人材開発研修などを手がけているゼネラル・ビジネス・サービス株式会社(GBS)と、500社以上に導入実績のある生産管理システム「R-PiCS」を開発・販売している株式会社リード・レックス(Reed Rex)が新たにJBグループに加入した強みを活かし、さらにビジネスの拡大を図ります。

ゼネラル・ビジネス・サービス株式会社(GBS) 株式会社リード・レックス(Reed Rex)

- 設立 1993年(平成5年)6月29日
- 設立 1974年(昭和49年)7月4日
- 従業員 73名
- 従業員 106名

(※)ユーザーは、インターネットに繋がるブラウザ端末のみを所有し、サーバー、アプリケーション、データなどはすべてネットワークの向こう側(=クラウド)にあって、データの保管・加工・処理などの受けたサービスに応じて料金を支払うビジネスモデル。

INFORMATION



株主さまアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

第45期株主通信でお願いしましたアンケートに、多くの株主さまよりご回答をいただきました。皆さまからの貴重なご意見、ご要望について理解を深め、今後の活動に役立ててまいります。アンケート結果は、第2四半期株主通信でご報告させていただきます。



株主還元方針について

当社は、株主の皆さまへの利益還元を経営の重要課題のひとつと考え、安定的で継続的な配当を行うことを基本方針としています。配当性向にも十分配慮しつつ、利益水準を向上させ、純資産配当率(DOE)5%を中期的な目標としています。また、配当と同様に自己株式の取得も、株主の皆さまへの有効な利益還元のひとつと考え、株価の動向や財務状況等を考慮しつつ、引き続き実施してまいります。



ホームページ/メール配信サービスのご案内

当社に関する各種情報は、ホームページ「株主・投資家情報」(投資家のみなさまへ)でご覧いただけます。業績や適時開示など当グループの最新情報をメールでご案内する「メール配信サービス」も、下記サイトよりご登録いただけます。(無料)

ホームページ <http://www.jbcchd.co.jp/>

決算などの財務情報に関するご質問は
tel: 03-5714-5172 e-mail: ir@web.jbcc.co.jp

※本株主通信に記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績は当社の予想と大きく異なることがありますことをご承知おきください。